

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1940
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.34, No.1 (1940. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19400101-0145">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19400101-0145</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

原理は新規・新法を避け、「一分之了見に申立間舖事」を遵守するにあつた。といふ風に説明する。然しかく徳川時代を劃一的に取扱ふ事は、果して當を得たものであらうか。徳川氏が天下に覇を唱へてから、實質上の身分的封建制を確立するまでも數十年を閲してゐるし、更にその身分社會の籠が緩んで、身分的秩序が混亂に陥入つてからも數十年を経過する。商人の立場についても同様である。徳川初期の商人は和寇と共に海外に活躍した冒險商人の子孫であり、戰國の諸侯と戰火を交へた堺の商人の子孫である。彼等にかゝる保守的精神を見出し得たらうか。更に亦、當時多くの武士が商人に轉化した。三井氏の越後屋、山中氏の鴻池は有名である。彼等は徳川末期の旗本の如くに、喰ふに困つて商人になつたものではない。彼等には自負があり、誇りがあつた。亦、徳川末期の商人には大名に膝を屈せしむる富限者を出さしめた。その生活の餘裕は驅つて多くの文化人を輩出せしめた。彼等は士と交り、勤王運動の黒幕ともなつた。徳川時代は「一の過渡期の様相を呈する」とは、宮本氏も本書の初めに云つてゐる。かゝる時代を劃然と一の身分社會と規定して取扱ふ事は、何としても危険である。

とは云へ、宮本氏がかゝる論文集的な形式を以て、概説的參考書たらしめんとするには、かくならざるを得なかつたであらう。その各章は徳川氏の身分的封建制下の典型に於いて、説明せんとしたものであらう。その意味に於いては異議を差挟む餘地は全く無い。唯、歴史は常に停滞せるものでなく、發展せるものである。本書の如き、近世商業組織の横斷的研究も必要であるが、發展史的研究方法も亦、重要である。氏は商業史の通論的な、而して啓蒙的な概論を著す事を、目下の念願として居らるゝ由である。以上の理由によつて、その速やかなる完成を期待して止まなす。

## 前號(第三十三卷) 目次

- ◎ 斷種法の理念とその人口政策的意義 寺尾 琢磨
- ◎ 有限會社經營上の若干の問題 小高 泰雄
- ◎ ケインズの「一般雇傭理論」 千種 義人
- ◎ エドウキン・R・A・セリグマン 教授逝く 三邊清一郎
- ◎ 經濟文献解題 高橋誠一郎
  - 一千八百八十三年版フランス・ドワイ・ロング著 『テューチ氏の「進歩と貧困」及びミル氏の賃銀理論の批判的検討』
- ◎ ミックウィッツ「十六世紀レヴァルの貿易」 高村 象平
  - Gunnar Mickwitz, Aus Revaler Handelsbüchern. Zur Technik des Ossehandels in der ersten Hälfte des 16. Jahrhunderts. (Helsingfors, 1938.)—
- ◎ Evans Lewin, The Germany and Africa, 1938. 山本 登
- ◎ 三田學會雜誌第三十三卷後半總目次

● 冊定價金五拾錢 郵税金壹錢五厘  
 ● 半年分金貳圓九拾錢 郵 稅 共  
 ● 一年分金五圓四拾錢

● 編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛  
 ● 營業に關する用件は發賣元宛  
 ● 原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和十四年三月廿五日印刷納本  
 昭和十五年一月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌  
 禁轉載  
 第三十四卷第一號  
 編輯者 江田 範 保  
 發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
 印刷者 金子 鐵 五郎  
 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
 印刷所 金子 活版所

發賣元 東京市芝區三田二丁目一番地  
 丸善株式會社三田出張所

● 尚ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す  
 電話三田(45) 二九二六番  
 一八九二七番  
 振替口座東京 一八五三番

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會  
 振替口座 慶應義塾 芝區三田二丁目二番 東京一八二〇四番